

にわのえほん

ぶどうのにわの収穫祭

san

作 おおたあやか
おおたまゆみ
たしろしげき

sample

ここはとあるまちにある、
みどりゆたかなぶどうのにわ。
ぶどうのにわに^す住^{ひと}む人たちは、
いっぼんの木^きになるぶどうのように、
つな^{ひろ}がり、^{ひろ}がり、ささえあって、
まいにち^{たの}楽しく^{くら}暮らしています。

In a town full of green trees,
in the Grape Garden
people help each other
and live a happy life
like grapes grow together on a vine.

これは、ぶどうの^きにわにある“ぶどうの木”の
^{いちねん}一年かんのおはなしです。
このおはなしは、^{あき}秋からはじまるよ。

sample

Here we start the yearlong story of the Great Grape Vine
in the Grape Garden.
And in autumn is where we begin.



ぶどうのにわの長^{なが}いろうかを、
うさぎさんたちがせっせとおそうじ。
ぶどうの葉^はっぱが、きいろくこうようしています。

sample

Along the long, long corridor
of the Grape Garden
Rabbit-girls cleaned and cleaned.
The grape leaves were autumn yellow!



剪定(せんてい)

なが～くのびたえだをみわたしながら、
「このえだと、このえだはのこして、あとはきりなさい。」
ものしりふくろうさんが、おしえてくれます。
たいせつな、えだだけのこして、えいようをたくわえ、
さむい冬^{ふゆ}をこすじゅんぴができました。

sample

The Pruning

While gazing at the long, long, long branches
of the Great Grape Vine,
“Leave this branch, and this branch, and cut the rest.”
a wise Ms. Owl said.
Leaving only the important branches,
the Great Grape Vine
could save all its energy ...
ready to sleep through the cold, cold winter.





ためしよみ

は

ここまでです